

交換留学修了届（2022年度）

私は海外協定校に派遣され、この度交換留学を修了しましたので、下記のとおりご報告致します。

記

■基本情報

留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	プレスビテリアンカレッジ
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年歴	※記入例 1学期：4月上旬～7月下旬、2学期：9月中旬～2月上旬 1学期：8月下旬～12月中旬、2学期：1月中旬～5月上旬
学生数	約1200名
創立年	1880年
留学先での所属学部	リベラルアーツサイエンス
留学時の学年	3年
留学開始・終了時期	2022年8月16日～ 2022年12月15日 (約4カ月)

■留学先での生活について

① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか？
田舎でした。キャンパスは自然に囲まれ、広大な敷地を有していました。ダウンタウンまでは歩いて10分ほどでしたが、そこまで発展しておらず行く機会はなかったです。
② 留学中はどこに住んでいましたか？
a. 大学寮 (○)： 何人部屋でしたか (2人)

- b. アパート (): 何人部屋でしたか (人)
- c. ホームステイ (): 何人部屋でしたか (人)
- d. その他 (): 具体的に:

③ 住環境はどうでしたか？

ベッドと机とタンスが常設されており、建物は古くあまりきれいな印象ではありませんでした。エアコンも古く、あまり暖かくならず冬は寒かったです。

④ 現地のインターネット環境はどうでしたか？

授業を行う建物や図書館、食堂などは良好でした。しかし寮ごとにつながらない部屋も多くありました。またインターネットトラブルが何度か起きて、パソコンが使えない状況がありました。

⑤ 食事はどうしましたか？

- a. 大学・寮のミールプラン ()
- b. 主に外食 ()
- c. 自炊と外食が半々程度 ()
- d. その他 () 具体的に:

⑥ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか？

他の留学生とは、留学生のためのイベントが多く設定されており、そこで交流を深めることができました。また、食事をする際は留学生みんなで食べるが多かったです。現地学生とは、ルームメイト伝いで交流が始まったり、自分から声をかけました。多くの現地学生とはビリヤードやバスケットボールを通して交流を深めました。

⑦ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか？

普段の休日は、自室や図書館で勉強したり、近くのスーパーに買い出しをしたりしました。また、大学側が設定した留学生のイベントが何度かありました。長期休暇では飛行機を利用し、他の都市へ旅行に行きました。

⑧ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。

暗くなれば、キャンパス外を一人で歩かないこと。(歩くとしたら現地の学生と)
 現地学生と温度感覚が違うので、エアコンの温度などはしっかり話し合う。

⑨ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。
特に自分が気に掛けることはなかったです。
⑩ どのような保険に加入しましたか。（ ）に○をつけてください。
a. 留学先大学が指定した保険 () b. 個人の保険のみ (○) c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ()
⑪ 予防接種は必要でしたか。（ ）に○をつけてください。
a. はい (○) 具体的に： b. いいえ ()
⑫ 現地で病院に掛かったことはありましたか？
なかったです。
⑬ 大学内の医務室・診療所（附属病院など）で医療サービスを受けることは可能でしたか？
可能でした。
⑭ 学内外で問題があった時には誰に相談しましたか？留学先に相談窓口はありましたか？
キャンパスポリスがありました。
⑮ 現地での危険情報をどの様に収集し、どのような防犯対策をしましたか？
特に意識することはなかったです。

■留学先での学習について

① 留学先で履修した科目・時間・授業内容について教えてください。 ※ 詳細は別紙「学習・研究活動レポート」に記載をお願いします
American History、Introduction to Composition、Advanced Listening & Speaking、Advanced Reading & Writing

② 授業履修の際に、注意したほうがいいことがあれば、なるべく具体的に教えてください。
<p>正規課程の授業なので、どの授業も難しいです。</p> <p>履修は4科目必須で、履修放棄の期間もありますが絶対に4科目履修しなければなりません。</p> <p>留学生をサポートしてくれる教員の方と何度も相談できる機会があるので大丈夫だと思います。</p>
③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。
<p>初めは何を言っているのかさえも聞き取れない状態で、今何をすればいいのかを聞き取るのに必死でした。科目によって先生に相談し、配慮してもらえるものもありました。毎日予習をすることが大事だと感じました。</p>

■ 留学前後の外部語学試験の成績・資格試験の実績について

① 外部語学試験	
[留学前]	[留学後]
② 資格試験	
[留学前]	[留学後]
TOEIC 700点	TOEIC 750点

■ 今後の進路等について

① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。
<p>a. (○) 4年で卒業予定</p> <p>b. () 卒業は延期する予定 (延長予定期間：)</p>
② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など)
<p>留学中は何も行っていません。現在は就職活動をしています。</p>

■ 留学全般について

① 留学を終えての学習成果を教えてください。

一番の成果はリスニング力が格段に上がったことです。生の英語を毎日聞くことで、留学終了間際には90%聞き取れるようになりました。

② 留学して、何が変わったと思いますか。

慣れない環境に身を置くことで、精神力や自己管理能力などの人間力が上がったと感じます。また海外に対しても、今まで以上に寛容になりましたし、将来は海外と接点が多くある人生にしたいと考えています。

③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。

海外へ行くことは非日常の連続で、毎日が刺激的で楽しいです。一方で大変なことも多くあり、挫折することもあると思います。しかし、テレビで見ていたあの場所に行ったという経験は本当に感動的で将来忘れることはないだろうと思います。学生だからできる留学を今してほしいと思います。

■ 学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：		履修した授業科目名（日本語）：	
American History		アメリカの歴史	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	秋セメスター		
単位数	4		
本学での単位認定状況	なし		
授業形態	講義法		
授業時間数	週2（火、木） 75分授業		
担当教授	William Harris		
授業内容	アメリカの歴史について		
試験・課題など	毎回次の授業までに、単語を調べる課題やテキストを読んで質問に答える課題があった。試験は中間と期末テストがあり、中間後には救済用の課題も課された。		
学習成果（自由記入）	日本では学ばなかった、主にアメリカ南部の奴隷制について詳しく学ぶことができた。この授業を取って本当によかったと感じている。		

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Introduction to Composition	作文入門
科目設置学部・研究科	English
履修期間	秋semester
単位数	4
本学での単位認定状況	なし
授業形態	講義法
授業時間数	週3（月、水、金） 50分授業
担当教授	Philip Perdue
授業内容	大学でのエッセイの書き方について
試験・課題など	Narrative、Argument、Analysisの観点において三回1000wordのエッセイを書いた。試験は期末にFinal paperとして2000wordのエッセイを書いた。
学習成果（自由記入）	英文でのエッセイの書き方、ルールを学ぶことができた。注釈の書き方が特に特徴的で難しく、何度も間違いを指摘された。先生が留学生だからと配慮してくださったことで1semesterを乗り越えることができた。

■学習・研究活動レポート

履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
Advanced Listening & Speaking	中級 リスニングとスピーキング
科目設置学部・研究科	English
履修期間	秋semester
単位数	4
本学での単位認定状況	なし
授業形態	講義法
授業時間数	週3（月、水、金） 50分授業
担当教授	Dr. Taylor

授業内容	大学レベルのリスニングとスピーキング	
試験・課題など	約週一回のペースで各 Unit のテストとプレゼンテーション課題が課された。試験はなし。	
学習成果（自由記入）	オックスフォードの教科書を使用し、より高度な英語を学んだ。日本の英語の授業とよく似た形で授業が進んだ。英語で話すことについて少し苦手意識が飛んだ。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：	
Advanced Reading & Writing	中級 リーディングとライティング	
科目設置学部・研究科	English	
履修期間	秋セメスター	
単位数	4	
本学での単位認定状況	なし	
授業形態	講義法	
授業時間数	週3（月、水、金） 50分授業	
担当教授	Dr. Taylor	
授業内容	大学レベルのリーディングとライティング	
試験・課題など	約週一回のペースで各 Unit のテストとライティング課題が課された。試験はなし。	
学習成果（自由記入）	先ほどと同様に、オックスフォードの教科書を使用し、より高度な英語を学んだ。日本の英語の授業とよく似た形で授業が進んだ。様々な分野の文章を読み、多くの学術的な単語を知ることができた。	

■ 留学費用について

		現地通貨：ドル	円換算：1ドル = ¥140
留学費用項目	現地通貨	日本円（換算）	その他（備考欄）
授業料	0	0	
滞在費	2750 ドル	385000	寮費
食費	2900 ドル	406000	ミールプラン
図書費	0	0	
学用品費	300 ドル	42000	教科書代
教養娯楽費	0	0	
被服費	100 ドル	14000	現地で生活のために買った衣服

医療費	500 ドル	70000	出国前の注射代
保険費	0	0	
渡航旅費 (航空運賃・空港税など)	3555 ドル	497790	包括保険代含む
雑費	680 ドル	95200	留学先から請求されたわからない費用
その他	1428 ドル	200000	旅行代など私的な出費
その他	96 ドル	13500	飛行機に間に合わなかったため、新幹線代 (品川駅→新大阪)
その他			
合計	12309 ドル	1723490 円	

以上